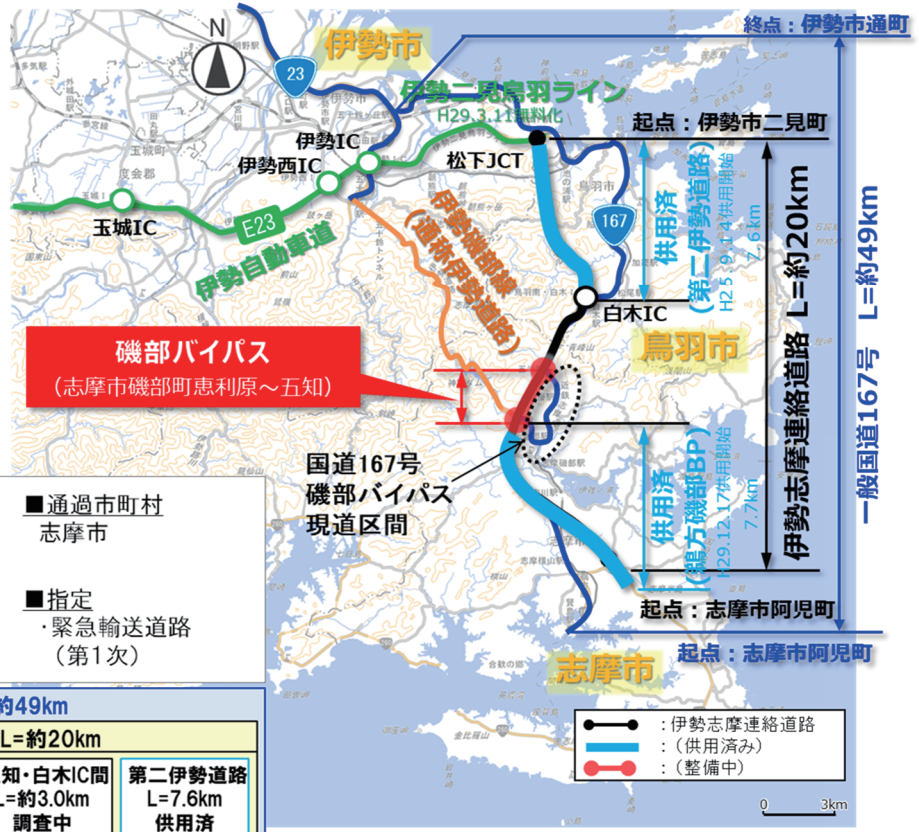


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：高松 諭

事業名	地域高規格道路 伊勢志摩連絡道路 一般国道167号 磯部バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	三重県
起終点	自：三重県志摩市磯部町恵利原 至：三重県志摩市磯部町五知			延長	2.5 km
事業概要					
一般国道167号磯部バイパスは、地域高規格道路伊勢志摩連絡道路の一部を構成する道路であり、災害等の緊急輸送道路機能の確保、交通安全性の向上、救急救援活動の円滑な実施、および地域観光産業の支援を目的とし志摩市磯部町恵利原～磯部町五知までの延長約2.5 kmを整備するものである。					
H24年度事業化		H1年度都市計画決定		H25年度用地着手	
H27年度工事着手					
全体事業費	約135億円	事業進捗率	約86%	供用済延長	— km
計画交通量	10,500台/日				
費用対効果分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.2 (残事業) 5.5	(残事業)/(事業全体) 31/147億円 事業費：30/145億円 維持管理費：1.2/1.2億円 更新費：0/0億円	(残事業)/(事業全体) 171/171億円 走行時間短縮便益：161/161億円 走行経費減少便益：8.9/8.9億円 交通事故減少便益：1.8/1.8億円	令和5年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.9~6.0 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1~1.3 (事業費±10%) 事業費：B/C=5.0~6.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=5.2~5.7 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の「緊急輸送道路機能の確保」 ・救急救援活動を支える「安全、安心、快適な道路環境の確保」 ・広域ネットワークの整備による「地域観光産業の支援」 					
関係する地方公共団体等の意見					
伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町で構成する「伊勢志摩連絡道路建設促進同盟会」から磯部バイパスについて、「平時には医療サービス、産業、観光等の暮らしを支える道路として、また災害時には地域の「命の道路」として避難、救急救命、復旧等重要路線として」、早期完成を強く要望されている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約100%、事業進捗率約86% 残事業の内容（道路工1,100m、舗装工1,100m）					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
引き続き、早期供用に向けて事業を進めていく。					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> ・トンネル照明について、LED照明を採用し、維持管理費の縮減を図っていく。 ・道路法面の一部に張コンクリートを行い、視距の確保と維持管理における除草費の縮減を図っていく。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



- 起終点
起点: 志摩市磯部町恵利原 (一般国道167号)
終点: 志摩市磯部町五知 (一般国道167号)
【全長L=2.5km】
- 通過市町村
志摩市
- 指定
・緊急輸送道路 (第1次)

国道167号 L=約49km			
伊勢志摩連絡道路 L=約20km			
鶴方磯部バイパス L=7.7km 供用済	磯部バイパス L=2.5km 進捗率: 77%	五知・白木IC間 L=約3.0km 調査中	第二伊勢道路 L=7.6km 供用済

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。